

登山時報

2021年8月15日発行(毎月15日発行)
1987年3月23日第三種郵便物承認
ISSN 1880-4993

9

至福のテント山行3編


2021 No.559

国際山岳連盟 (UIAA) の 待望の日本語訳! 登山技術スタンダード

ISBN978-4-944014-18-7
C2475 W2000E

9784944014187


1922475020002




このハンドブックは、自らのスキルと知識を深めて活動領域を拡大したいと考えるハイカー・クライマー、登山者のためのものである。もともと国際山岳連盟傘下の山岳組織・山岳会の指導者やリーダー候補生のための参考書として編纂された本書は、主として夏季の活動に重点を絞り、基礎知識、アルパインハイキング、クライミング、アルピニズムの歴史からなっている。このハンドブックは、試行の上安全が確認された技術を提供することを目的としている。こうした技術は資格を持つ講師の開催する正式な講習によってのみ伝授され身につけられるべきである。

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会 創立60周年記念事業土版

日本労働者山岳連盟 日本山岳・スポーツクライミング協会と共同で発行されました。

With the technical and financial support of the  Fondation

総合登山技術ハンドブック 夏季 アルパイン



登山技術スタンダード アルパイン

UUIAA

登山教育を優先しよう

登山の世界の限界を押し広げようとしているみなさんがリスクと適切に向き合えるようにお手伝いができることを嬉しく思っています。

みなさんが生涯すばらしい冒険を続けられますことを祈ります。

(H.L.F.R.) 29

ベツル財団会長 ホール・ベツル

創立 **60** 周年

1960-2020

UUIAA

日本労働者山岳連盟
記念出版

代金は2,200円×冊数(税・送料込み)になります。
下記の口座に振込みをお願いします。

振込先(郵便振替口座)
00160-1-152812 日本労働者山岳連盟中央登山学校

※銀行ATMから振り込むときは
銀行名=ゆうちょ銀行 支店名=〇一九(ゼロイチキョウ)
預金種目=当座預金 口座番号=0152812
口座名義=ニホンキンロウシャサンガクレンメイチュウオウトザンガッコウ

※振込日とお届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号などをメールまたはFAXなどでお知らせください。確認できしだい約一週間内にお届けします。

日本労働者山岳連盟・事務局

TEL03-3260-6331 FAX03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp
フリーダイヤル0120-44-2742(平日10~18時)
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

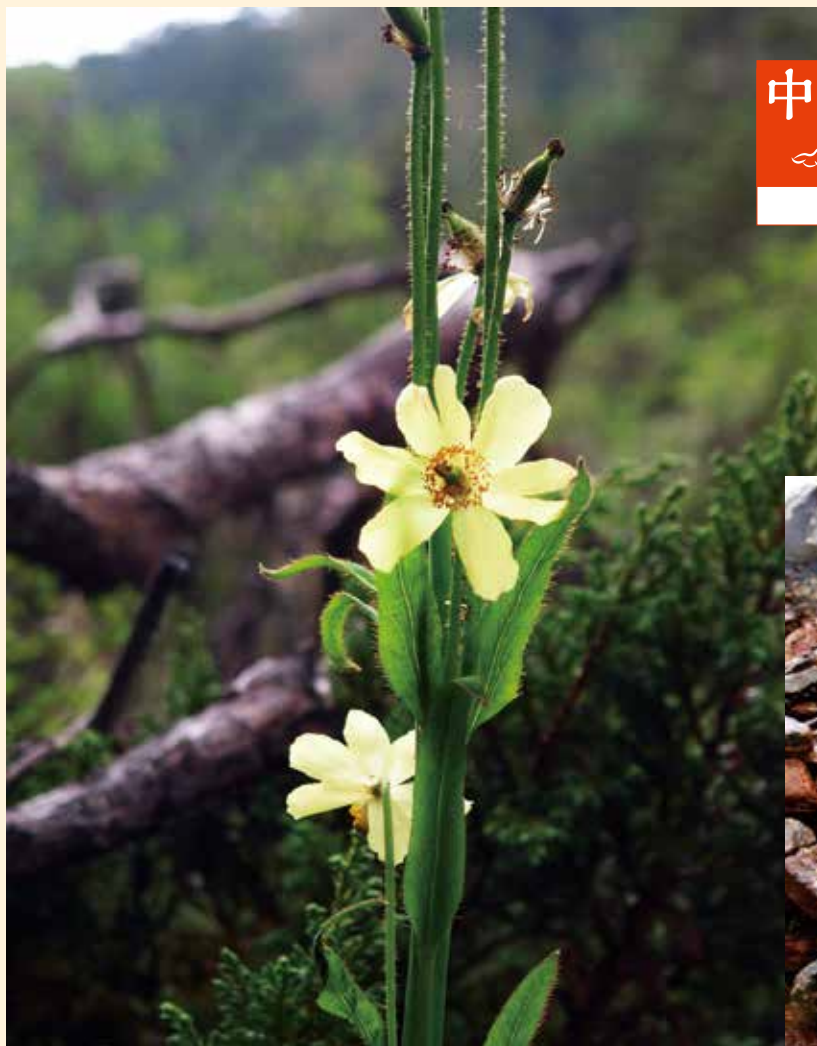
国際山岳連盟が登山の世界スタンダードとして発行している技術書が日本語に翻訳されました。発行元は(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会ですが、日本労働者山岳連盟も全面的に協力し、翻訳者は労山国際部長・大和田英子理事です。ぜひ労山会員に広く普及してください。

中国の青いケシ

探訪記

—雲南省編⑦—

写真・文 松永秀和



雲南省麗江市老君山 標高 3800m



チベット自治区林芝市セチ・ラ峠

メコノプシス・スルフレア

老君山にはもう一種、青いケシがある。といっても花の色は淡い黄色で、その色から、2014年、グレイ・ウィルソンによってメコノプシス・スルフレアと命名された。スルフレアとは硫黄の意味である。花そのものは19世紀末にデラバイ神父が採集しており、ヨーロッパに知られていた。20世紀に入り、この地で花探索したキングドン・ウォードは本種を新種だとしていたが、グレイ・ウィラーは彼のモノグラムでM・インテグリフォリアに含めてしまった。青ケシの大家の影響か、以来本種はインテグリフォリアとされてきた。

今世紀に入りグレイ・ウィルソンらにより現地調査が行われる。多数のサンプルを元に詳細な分析がなされ、雌しべの花柱や柱頭、葉脈の形状が異なることから別種と認定された。前号で紹介したM・バイレイのように、花の種小名が二転、三転することとはよくある。ポイントの色や形より果実の形や葉の形態の違いにある。注意深く観察すれば、あなたも新種を発見できるかもしれない。ちなみに、本種と同じものがチベットのセチ・ラ峠にもある。その近くのM・バイレイが老君山のM・ベトニキフォリアと別種なのに、こちらは同種とは。更なる研究が待たれるところだ。



大峰山系最高峰の八経ヶ岳遠望



弥山でキャンプ

福の 至 テント 山行

大峰山系 弥山川双門滝コースからの 弥山・八経ヶ岳

加藤高志 高松勤労者山の会／香川

大峰めざし出発

紀伊半島大峰の登山道で最も難しいとされる弥山川双門滝からのコースで大峰最高峰八経ヶ岳をめざした。女性1人と男性4人の5人パーティである。装備は、8mm30mロープ、ヘルメット、カラビナ、シュリング、ハーネスを用意した。佳境を1泊2日の計画で通過予定なので、テントは男性用に2人用2張、女性用に1人用1張を持参した。

香川県高松市を昼前に車で出発し、1日目は、天川村のキャンプ場に前泊する。キャンプブームで周囲は大きなテントがいくつも張られ、焚火をしたりして賑やかだ。翌朝は午前4時起床。登山では普通だが、キャンプの人はまだまだ寝ている人が多く「うるさいよ」と言われながら、そそくさと出発する。国道309号をしばらく行き、登山口の熊渡で道脇に車をとめる。

ここから川迫川の橋を渡り、車両通行止めゲートをこえて、林道を1時間ほど歩いて河原へおりの。釜滝までは緩やかな河原である。白川八丁では、テントを張っている人がいる。自然につつまれ、気持ちよさそうだ。釜滝を過ぎると道は険しくなってくる。沢登りの要素がでてくる。渡渉したり、巻いたりして進む。巻きの部分には鉄の水平はしご道があるが、壊れているところもある。

登山では普通だが、キャンプの人は

延々と続く鉄はしごと大滝



一ノ滝、二ノ滝



空中回廊

河原を歩く箇所では、ルート
 ファインディングが試される。
 ときどき大岩にাগরিルート
 探る。巻きの箇所を取り付き地
 点を見失わないようにしなけれ
 ばならない。一ノ滝手前で立派
 な吊り橋を渡る。一ノ滝、二ノ滝、
 三ノ滝は右岸を大きく高巻く。
 ここから延々と続く鉄はしご登
 りが始まる。はしごは丈夫な鉄
 製である。ここは基本通り三点
 支持で急がず慎重に登っていく。

落ちる。双門の滝の箇所もはし
 ごで巻いていく。登れども登れ
 ども天に向かつてはしごが続く。
 棧道箇所もはしごがそのまま使
 われている。間隔があいている
 ので足を踏み外すと隙間から落
 ちてしまうかもしれない。
ラスト 息抜けぬ鉄鎖はしご
空中回廊
 滝を巻ききり、ザンキ平とい
 う広いところに着く。ここから
 谷へ降りていく。河原には避難
 小屋があったが、山腹崩壊で流
 され跡形もない。河原は不安定
 な土石が堆積して道が消えてお
 り、ルートファインディングが難
 しい。やがて谷は二股に分かれ、

右に入ってしばらくすると、鉄
 鎖はしごが垂壁にかかっている。
 ここは慎重に30mロープを出
 し確保した。さらに、岩壁に鉄
 棒を突き刺して足場にした空中
 回廊を過ぎ、滝の左岸の踏み跡
 をたどって高巻いて行くとおだ
 やかな地形になり、小屋の立つ
 狼平につく。僕たちはさらに足
 を延ばし、予定通り弥山までい
 くことにした。

弥山から八経ヶ岳へ

弥山山頂からの展望は、山々
 が重なり紀伊半島の山深さを感じ

じる。弥山小屋で受付をすませ、
 テントを張る。小屋前のベンチで
 ビールを飲む。難コースを無事
 終えた解放感に浸るひと時であ
 る。暗くなると、ガスがでてきた。
 夕食をすませテントに潜り込む。
 山の気配につつまれテントで寝
 るのは至福の時だ。
 翌朝は曇り空の中、大峰山脈
 最高峰の八経ヶ岳に登頂する。
 倒木が多く、てこずる。レンゲ
 道を下り、高崎横手の道に入り、
 ナメリ坂を下り、本道からわか
 れ弥山川への道を下る。やがて周
 りが人工林になり、林道に降り立
 ち、熊渡登山口に降り着いた。



山行日程：2019年9月15日～16日

山を楽しむ 写真講座

Vol.5

どのような状況下でも必ず収穫を

写真・文 宮本宏明

穏やかな晴天天下の登山は楽しいものですが、山は気象の変化が大きく、期待通りの天気にならないこともよくあります。遠くの景色ばかりに目を向けていると悪天候時には撮影するものが無くなってしまいますが、山の魅力は展望だけではありません。山は自然の宝庫であり、視点を変えれば被写体は無限にあるのです。

モチーフの見つけ方

遠くの景色だけでなく、近くの魅力的なモチーフを探してみましょう。歩きながら足元の動植物を観察してみてください。



作例1 三頭山にて



作例2 櫛形山にて



作例3 和賀岳にて

小さな花、苔、きのこ、落ち葉、虫などの精緻で美しい世界に気づくことと思います。木々の表情を観察します。時間の流れを

感じさせる老木、枝振りが力強いブナの大木、趣のある樹木の配列などを発見できるかもしれません。梢を見上げてみます。空を覆うように広がる緑の勢いに生命力を感じませんか？
このようにして心動かされるモチーフを発見したら、構図を工夫して撮影してみましょう。画面にうまくまとめるのはなかなか難しいと思いますが、モチーフ発見のプロセスを繰り返す過程で自然の息吹を感じ取る感覚

が研ぎ澄まされ、登山の楽しみ方の幅が広がることにもつながります。
作例1は、ブナの幹に着生している苔を撮影したものです。苔の緑の濃淡様々な色味と模様としての面白さに惹かれました。
作例2は、倒木に芽生えたモミジの若葉です。樹木の世代交代の様子と、若葉の可愛らしさに心を動かされ撮影しました。
作例3は、何本もの枝を大きく広げ、太い幹に様々な植物を



作例4 八方尾根にて



作例5 乗鞍高原にて



作例6 尾瀬にて



作例7 赤城山にて

着生させたブナの生命力を感じ、撮影しました。

作例4は、いささか極端な例かもしれませんが。森林限界を超えた場所で濃霧となり本当に足元しか見えない条件下、どうしても撮る物を見つけれませんでした。苦し紛れに登山道に転がっていた石の表面の模様を撮影したものです。作品として成功するかどうかは別にして、「どのような場所、どのような状況

下でも必ず収穫を持ち帰る」ということを自らに課すことで、モチーフの発見力が身につくと私は思っています。

気象条件を生かす

雨の日、景色は見えないし、手は冷たいし、雨具で蒸れるし、嫌なことばかり。早く小屋に入って着替えたい。それでも山へ出掛けるのは何故でしょう？こ

ういう「雨の日」を表現することも写真の面白さです。雨の日に晴れの写真が撮れないのは当たり前前、雨の日は雨の写真を撮れば良いのです。ここでは様々な気象条件の表現方法を解説します。

降雨

落ちてくる雨粒や雨で濡れた物など「雨そのもの」を撮影したり、雨具を着た登山者などで

間接的に雨を表現する方法があります。作例5は、紅葉のナカマドに光る水滴と、ほかした背景に降雨が白い線となるように浮かび上がらせ、雨の日のしつとりと美しいシーンを切り取っています。作例6は、濡れて光る木道と雨具を着た登山者により、雨の日の雰囲気、登山者の心情を表現しています。

降雪



作例 8 仙丈ヶ岳からの甲斐駒ヶ岳



作例 9 樽池自然園にて



作例 10 丹沢にて



作例 11 櫛形山にて

降雪は雨よりも粒が大きいので表現しやすいですが、暗い背景を選択しないと画面全体がまっ白になってしまいます。作例7は、暗い背景が無かったので、ストロボを光らせて近くの雪粒を明るく大きくぼかし、メルヘンチックに表現してみました。

風

風そのものが見えないので、風に飛ばされるもの、風で揺れる

ものによって間接的に表現することになります。作例8は、稜線に舞い上がる凄まじい雪煙です。風のタイミングに合わせて何枚も撮影し、雪煙のボリュームと形が良いカットを選択しています。作例9は、風に揺れる笹をスローシャッターでぶらして表現しています。スローシャッターを使用するため、三脚が必要となります。

霧

6月のワンポイントで触れましたが、霧の日は森の撮影に最適だと思います。私は敢えて霧の日を選んで森の撮影に出掛けることがよくあります。作例10は、背後の雑然とした枝葉が霧によりすっきりと整理され、主役の花が浮かび上がりました。幻想的な雰囲気も加わっています。作例11は、木漏れ日により鮮明に描写された前景と霧に霞む遠

景との対比により、奥深い森の雰囲気を表現できました。

曇天

被写体全体にムラ無く光が回り明暗差が少ないため、露出の決定が容易で撮影しやすい条件です。一方で、インパクトが強く印象に残る作品を作るのが難しい条件ともいえます。白とび、黒つぶれが発生しにくく、作例12のような色彩の微妙な変化の



作例 12 尾瀬にて

再現に適しています。雨天のようにカメラの保護を気にする必要がありませんので、積極的にモチーフを探して色々なものを撮影してみましょう。

連載開始から今回まで、構図、光、気象条件など、カメラの機能、性能に関わらない普遍的なノウハウについて解説してきました。既に実際の山行で撮影を実践されている方もいらっしゃるかと

9月のワンポイント



丹後山にて

夏が過ぎると高山植物の花が少なくなり、雪渓はやせ細り、紅葉にはまだ早いという時期です。こういう季節の変わり目は写欲をそそる被写体を見つけないのが難しいものです。

けれども、豪華絢爛な紅葉のような、誰をも「凄い」と唸らせる写真ばかりに価値があるわけではありません。紅葉が期待できないことを嘆くのではなく、今回のテーマにも通じますが、日本の山



北岳・小太郎尾根

の特徴である季節の変化を感じられるモチーフを探し、味わい深い自然の美しさを表現したいものです。

丹後山の作例は、朝の谷間の大気に秋の気配を感じて撮影しました。北岳の作例は、ウラシマツツジがいち早く色づき始めた初秋の稜線です。

思います。納得のいく写真が撮れたでしょうか？構図は以前よりも良くなった気がするが、何となくパツとしない、作例のような綺麗な色で撮れない、というような悩みを感じていらっしゃるかもしれません。

色の深みには、適切な露出決定が関係しています。そもそも露出って何？と思われる方が

多いかもしれません。また、これまでの作例の解説で「背景をぼかす」とか「スローシャッターで」などと書きましたが、具体的にどうすれば良いか分からない方が多いかと思えます。

いよいよ次回から、機材（主にカメラ）の使い方、解説に移ります。カメラの種類と特徴、仕組み、露出の決定方法（絞り

とシャッタースピードの関係）、交換レンズの特性と使い方など、皆さんの表現意図を写真に反映させるために欠かせない知識を解説していきます。

ずっとカメラ任せでシャッターだけ押していた方は、カメラでこんなに色々な表現ができるのか！と驚かれるかもしれません。どうぞお楽しみに。

原田勇成の

白神便り

| 第49回 |

その年最後の花

暑い夏が終わり、ヒゲラシが辛うじて鳴き残る頃は、森が一番落ち着く時期かもしれない。木々の葉の緑は最も濃くなり、あちこちに虫食い穴が開いている。一か月後には黄色く染まり、二か月後には地面に落ちるだろう。

そんな九月、崩山（940m）

へ向かう。十二湖で最も有名な「青池」が登山口となるため、軽装の観光客に会釈を繰り返しながら歩き出すこととなる。それでも数分後には人の声は消え、サワグルミの純林を過ぎれば、標高差300mほどの急登となる。ミヤマアキノキリンソウ、トリカブトなど

が所々に見られる位で、鳥の声も薄く、何を考えるでもなく淡々と歩を進める。傾斜が急に緩むと、壊れかけたベンチで小休止。殻が幾つか周りの幹に残っている。ここから先は一気にブナの密度が増え、手つかずの白神の森に一人うなずく。登山道の真ん中に大きなカタツムリ。誰かに踏まれないように脇へ寄せ、小さな沢を回り込む。すると突然足元が切れ落ち、日本海が現れる。ここは「大崩れ」と言われる大崩壊地の頭で、眼下に12の湖が見えることから「十二湖」という名の由来となった場所であり、海と湖とブナの森が同時に目に入る稀な展望台だ（現在は危険防止のため、ここを迂回するルートとなっている）。マクロレンズに交換し、崖の際を少し進むと、可憐な花の群落に出会う。ウメバチソウだ。200株ほどの中から、一番美しい株を選ぶ。もう来春まで咲く花はない。その年最後の花を楽しむ。

登山時報

2021 **9** No.559

表紙写真：宮本宏明

「色づく大雪・裾合平」

日本で一番早い紅葉を撮影しに大雪山へ。毎日、晴れ間はあるものの雨も降る不安定な天気が続き、事前に思い描いたようには山が姿を見せてくれない。それでも、一瞬の日差しに輝くナナカマドの鮮やかな紅葉は感動的だった。



CONTENTS

- 01 連載 **中国の青いケンシ探訪記** 松永秀和
- 02 **至福のテント山行**
大峰山系 弥山川双門滝コースからの弥山・八経ヶ岳 加藤高志
- 04 連載 **山を楽しむ写真講座** 宮本宏明
- 08 連載 **白神便り** 原田勇成
- 10 ふみあと
- 11 連載 **子づれ山さんぽ** 武井真理
- 12 **至福のテント山行**
霞沢岳 クラシックルート 長町祐志
日高山脈の主峰・幌尻岳（チロロ林道コース） M.安井
- 16 連載 「山の本」から見えてくる登山（クライミング）の歴史 田上千俊
- 18 連載 **アドベンチャー・トラベル** 大蔵喜福
- 20 連載 **山登りのための やさしい気象講座** 野尻英一
- 22 全国ハイキング活動者会議を開催
- 24 全国救助技術交流集会
遭難時の捜索技術をテーマに福岡県で開催
- 26 全国登山研究集会に向けての課題別講座
（第1回労山基金・第2回遭難対策）を実施
- 28 専門委員会活動報告
- 31 全国連盟の活動
- 32 マンガ フウフウ ハアハア 村松孝一
- 33 インタビュー ひと 佐藤美知弥さん
- 34 連載 **山の温泉講座** 古田靖志
- 36 連載 **地図読み迷人** 宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真
- 38 **ミニガイド 階上岳（青森）**
- 39 筑井孝子のちょっと人物・物をうまく描こう / あらかると 石井光造
- 40 連載 **オススメ山道具** 笹原芳樹



「登山時報」はリサイクル可能なソイインク
(大豆油インク)を使用しています。

安全登山に必要なことⅧ

全国山岳遭難対策協議会に参加した。スポーツ庁が主催し、警察・消防・山岳団体などの遭難対策担当者が年に1回、一堂に会して山岳事故防止を話し合う場だ。20年ほど参加し続けているが、警察庁の前年度山岳事故概況報告では、死亡・行方不明者の男女別・年齢別・態様（原因）別データが、毎回明らかにされていない。私からは今回も公開をお願いした。

青山千彰日山協理事（労山顧問）の講演では、山岳事故の44%を占める道迷い遭難を減らさねばならないが、スマホで検索して目的のルートを設定するだけの登山者への対応が急務であると問題提起があった。会場参加者から誰も応えないので、私は2回目の発言になるが、組織登山者に道迷い事故が少ない

ことから、登山届（計画書）の提出と、それを補完するための下山確認が全国統一してできる体制を提案した。

山岳保安庁構想

日本の山岳救助は各地方自治体の警察署や消防署に任せられ、格差が大きい。事件の捜査や火災の消火をしながら山岳救助にも携わる。数年で部署が異動することもあり、山岳装備を備えていない場合もある。難しいとは思いますが、海上保安庁のような組織ができないか？ 日本国内の山岳地域すべての捜索・救助を行う組織があれば、専門能力も向上し、地方自治体の負担も軽減される。山岳地域での自然災害も増えているのだから、必要性は高い。

そして、ここで全国の山行計画書を一括して受けつけ、下山連絡も受ける。アプローチの林道が通行止めになったなど直近情報の提供、下山連絡に対して「祝・無事下山、お疲れ様」などの自動返信ができれば、なお素晴らしい。

税金を投じた整備が難しければ、スイスの航空救助隊のように保険制度の利用や寄付を募る方法もある。山岳団体を中心となり、非営利の組織とすることも検討してはどうだろうか。

欧米の救助へりは、山岳遭難時以外は訓練を兼ねて山小屋への荷揚げや山仕事を行っている。これを無料で行えば山小屋への大きな支援にもなると思う。山岳遭難にかかわるようになってから、ずっと考えている私の夢のひとつだ。

（川嶋高志／日本勤労者山岳連盟 事務局長）

2020年8月
長野県上田市
美ヶ原高原
約2000m

七瀬：5歳1ヶ月
峻：2歳1ヶ月

タイム◎10：10道の駅美ヶ原高原～10：35牛伏山～11：25美しい塔～(休憩)～往路を戻って、山本小屋駐車場まで

参考◎『山と高原地図 八ヶ岳』(昭文社)



開放感あふれる美ヶ原高原



峻もゆっくり歩きます。



美しい塔近くの原っぱで休憩中…峻が指を気にするそぶりを見せたのでみると、指にトゲが！途中、登山道脇の柵でも触ったのでしょうか。応急手当セットは携行したものの、トゲ抜き系は入れておらず…使用頻度は低くても、入れておかなければなりません。山麓に出た後、スーパーでピンセット等を購入し、トゲ抜きしました。



できるかな？ 行ってみよう！

子づれ 山さんぽ[◎]

vol.50

やま

武井真理 カモシカスポーツ

七瀬 2015年6月生まれ
峻 2018年7月生まれ

この年のお盆後半～お盆明けにかけ、私も夫も連休がとれたため、野営しながら糸魚川の海を目指し、その途中、以前より気になっていた美ヶ原へいってみたいことにしました。

山本小屋P駐車場から歩き始める予定でしたが、すでに満車！「道の駅美ヶ原高原」に駐車することに。(ちなみに、「道の駅美ヶ原高原」～山本小屋まで、コースタイム30分。)こちらのPも混雑、駐車できたものの、さすが高原リゾート。お盆後半とあって、たくさんの方で賑わっていました。

さて、美ヶ原高原美術館の野外展示作品を横目に、歩き始めます。広大な高原！天気もよく、真夏らしい強い日差しのもと、視界は広がり、開放的に歩けます。高低差もあまりなく、道幅も広く、小さな子でも歩きやすいです。

七瀬は、たったかたったか先へと行ってしまおうので、私が七瀬と歩き、夫はゆっくり峻と歩くこと

に。峻が歩かなくなった時用に、ベビーキャリーも持っていきまし。往路は峻もよく歩きました。保育園の登園でも、自分で歩ききる日も出てきた頃、また言葉も出てきた時期で「ゆっくりゆっくり」とつぶやきながら歩いていました。

牛臥山を過ぎると、牧場がひろがり、牛の姿が。牧場を歩いていくと、じきに美しい塔へ。ここをゴールとして引き返すことにしました。

ただ、ここまで思ったより時間がかかってしまい、すでに昼近く。子どもは空腹と疲れのなか、また1時間以上歩くとなると、途中でぐずりそう…。そこで、夫がひとり「道の駅美ヶ原高原」Pまで戻り、車を回収し、山本小屋Pで待ち合わせることに。こうすれば、こどもが歩く時間をだいぶ短縮できます。七瀬には歩いてもらい、峻はベビーキャリーで背負って歩きました。山本小屋Pにはソフトクリームの売店があり、ソフトを食べながら、こどもも機嫌よく、夫を待ちました。

至福の テント 山行

霞沢岳 クラシクルート

長町祐志 三島勤労者山岳会／静岡



クラシクルート登り 岩魚留小屋～力水・中間地点



霞沢岳を望む 右遠方に槍ヶ岳 K1ピークから撮影

いにしえの道・
クラシクルート

今では釜トンネルから観光バスで入れるが、我々はウォールド・ウエストンが歩きたい。しえの道、故人の軌跡、クラシクルートを辿り、霞沢岳に登った。

島々口から登山を開始。スタートは川沿いの林道で、木立の中を快調に進む。最初のポイントは二俣、ここまで2時間弱とコースタイム通り。陽の当たらない、勾配の緩い川沿いの山道をひたすら歩き続ける。途中、橋を渡つ

たり、橋のない小さな沢をいくつか渡渉したりし、岩魚留小屋に到着。北アルプス山中にある小屋とは思えないほど静かなこの小屋で、昼食も兼ねた少し長めの休憩を取る。

ここからも同じような沢沿いの山道を進むと、急に沢から離れ急登になる。急登といってもつづら折りの坂で、息が上がってしまふほどではないが、ここまでの道のりが楽だったため、少しきつく感じる。

しばらく登ると噂の水場「力水」に到着。徳本峠小屋の水を買うと1リットル200円するとのことで、4人で合計15リットルの水を担ぎ上げた。後で小屋の方に伺ったところ、「力水は米を炊くなど料理に良い、

明神側にある水場の水はお酒を割るのに良い」とのことだったが、後日飲んだ明神側の水はそんなに



ヘリポートもテントでいっぱい

おいしくなかったという印象である。ここからは、荷も重くなつたので、それぞれのペースで徳本峠を目指す。小屋に着いた頃には、すでにテント場が満杯になっており、無理を言つて小屋の裏にあるヘリポートにテントを張らせてもらった。

リーダーの還暦前祝い

夕飯は、豚汁と酒とみんなで持ち寄ったおつまみ。生肉を担ぎ上げた甲斐があつて、肉らしい肉の入った豚汁であつた上に、食担(TK)の奥様のアドバイス



霞沢岳を目指してK2ピーク付近を快調にすむ

により、薄揚げと刻みネギが加わったことでグレードアップ。TKの奥様の愛のお裾分けを頂き、一同満腹。続いて来週還暦を迎えるTKを祝うつもりが、TKは愚痴も酒も止まらない。あまりに賑やかだったためか、隣に

テントを張っていた30代ぐらいの若者が仲間に入れてくれないかと思ってきた。冬山に登ったことがないので冬山の魅力を語らうが、酔っ払いに説得力無くどう聞いても「危ないから行くな」に聞こえる。消灯後

は小屋の発電機の騒音が消えた代わりに、テント内ではいびきが響き渡った。

オコジョに心を奪われる

2日目は、霞沢岳をピストンを。往路は急坂を登ってはだらだら下り、登っては下りの繰り返しだった。朝から天気が良く、樹林帯を抜けてからは乗鞍岳、焼岳、笠ヶ

岳、抜戸岳、穂高岳、蝶ヶ岳、下の方には梓川までばっちり見えた。その代わり、とても暑くて飲み水が足りなくなりそうなのであった。なんとか4名全員登頂を果たし、下山開始。途中休憩を取っていると、オコジョが3匹現れた。3人でカメラを向けても逃げることなく、撮影会につきあってくれた。オコジョの撮影に夢中になっていた「お待たせ」と一言。それに対して「待ってるのはオコジョです。HNさんじゃありませんから、気にしないでください。」と、大変失礼な返事をしてしまった。私は悪くない。全てはオコジョが可愛すぎたせいである。



可愛すぎるオコジョ



山行日程：2019年9月14日～16日

- 1日目 安曇支所駐車場～二俣～岩魚留小屋～力水～徳本峠
- 2日目 徳本峠～霞沢岳～徳本峠
- 3日目 徳本峠～明神～河童橋～上高地からタクシーで安曇支所駐車場



幌尻岳（右）と戸蔦別岳（左）

福の 至 テント 山行

日高山脈の主峰・幌尻岳

（チロロ林道コース）

M・安井 札幌ビオレ山の会／道央

トラブルも戸蔦別岳をめざす

早朝に札幌近郊の自宅を出たので、林道駐車場には7時30分に到着した。なんと30台程停まっている。思わず、こんなに人が入っているならヒゲマは気にしなくても良いと思った。

取水口のある林道終点から沢沿いの登山道となり、二ノ沢からは何度か渡渉するが登山靴で支障はない。沢を離れると急坂となり、標高約1380mのトツタの泉で水を4ℓ汲む。稜線近くになると額平岳の岩峰が見えてくる。11時45分に額平岳に到着。

ハイマツの根元にザラメ雪が少し残っている。幌尻は降雪のためか微かに白い。ここまでは快調だった。ところが北戸蔦別に



額平岳（左）と北戸蔦別岳（右）その奥に戸蔦別岳

向けて歩き出すと、稜線に出る前の急傾斜で張りを感じていた両足のふくらはぎがつって歩けない。ここに幕営しようかと迷ったが、行けるところまで行こうと、足をさすりさすりロボットのようには歩き出す。

テント場でのあれこれ

14時20分に戸蔦別岳に到着。ピークにテント一つ張れなくてもいいが、まだ登山者が来るかもし



七ツ沼カールを見下ろしての縦走



東側の谷に戸蔦別川がみえる

れない。風当たりも強いだろう。下った先のコルから幌尻の肩までは細い稜線が続き、テントを張る場所はない。コルに黄色いテントが一つあり、その並びに少しスペースがありそうだ。そこを指してゆっくり下る。25分でコルに到着。戸蔦別岳から見たのはテントではなくツェルトだった。挨拶をして隣にテントを張り終えたのは15時過ぎだった。

食後テントから出て見ると、七ツ沼カールにテントが一つ張っている。沼はほとんど涸れている。幌尻方面から登山者が一人来た。北戸蔦別岳に暮営しているので、幌尻岳に登ってこれから戻るところだった。16時40分頃、高齢の男女4人組が戸蔦別岳から来てカールに向かって下りていった。あのペースではカールに着くのは17時を過ぎるだろうが、暗くなる前に幕営できそうだ。少し眠った20時頃、幌尻側から戸蔦別方面に鈴の音が通りすぎて行った。ヒグマの気配よりマシだが、こんな時間に鈴

の音を聞くのは気持ちのよいものではない。

ガスに包まれた幌尻岳、下山へ

翌朝は4時起床。天候はガスに覆われ風も強い。陽が昇ってガスが晴れることを期待して幌尻岳を目指す。手前の北戸蔦別に幕営していたなら、恐らく下山していただろう。7時15分に幌尻岳に到着したが、ガスは晴れないまままだ。感動はないが一応写真を撮る。

下山中ツェルトの登山者と出会う。次に3人組と出会う。恐らく七ツ沼カールに幕営していた登山者だろう。高齢の4人組はどうしただろうと気になる。他に幌尻岳に向かう登山者と出会ったのは2組だけだった。北戸蔦別にはテントが6つ程張ってあった。稜線の東側の谷は時々晴れるのだが、西側の谷のガスはいっこうに消えない。幌尻岳もガスに包まれたままだ。額平



山行日程：2019年9月21日～22日

岳からの下り、急傾斜の濡れた土に足が滑りそうで慎重に下る。二ノ沢まで下ると沢沿いの緩傾斜となりホツとする。林道でピッチを上げて14・30駐車場に着いた。

今回、紅葉は綺麗というほどではなかったが、それでも秋らしい気配を味わえた。また、高い幌尻岳は遠いというイメージだったが、チロロ林道を利用してみて意外と近いとわかった。

てくれました」

奥山章氏は晩年の1972年、最も愛するインドヒマラヤを広く知ってもらうために、インド・エベレスト隊長M・S・コーリー氏と共に「ヒマラヤ講演と映画の夕べ」と題して日本全国の登山で1か月にわたり講演。「登山への影響はその後の同連盟の輝かしい海外登山の1ページを開くことになった」（ザイルを結びと き・奥山章遺稿集「年譜解説文」とあるほどで、「奥山さん、安川さんなどは熱烈な登山のファンだった」（前出・吉尾さんインタビュー）と語られるほど当時の登山と第2次RCCとは深い関係であったと思われる。

これらはひとえに吉尾さんの登山実績もさることながら、人柄による部分も大きい。筆者自身も1980年11月、東京都文京区のふたき旅館で行われた会議でたまたま吉尾さんの隣に座った。その時「あなたどんな山やってるの?」と聞かれ「ハイキングです」と答えたら、しばらく考えて「ハイキング、素晴らしいですね。」と笑いかけてくれた記憶がある。日本トップクラスのクライマー、普通ならもつと違った答えが出てもおかしくはない。吉尾さんの

暖かな人間性を感じる会話だった。

1978年10月には、吉尾さん隊長とする「登山全国連盟ネパールパピール峰(7102m)登山隊」が初登頂を果たす。続いて1981年、チョー・オユー(8201m)にも全国連盟隊を派遣。さらには1987年8月のグラランド・ジョラス北壁ウォーカー稜完登など登山活動を続ける。この間の1982年4月、クライミングジャーナル誌創刊号において、当時のフリークライミング・ハード・フリーと呼ばれた分野のスター・檜谷清氏(注5)と対談している。「スーパーアルピニズムの旗のもとにめざましい登攀をなし、一世を風靡した吉尾氏」と紹介され、5時間にわたる熱談を繰り広げた。詳細は「垂直の星・吉尾弘遺稿集」をお読みいただきたいが、いくつかクライミングの核心に触れる部分を紹介したい。

人工登攀(あぶみなどを使う登り方)について、吉尾さんの「自分の四肢だけで登るのが真の姿だとは思いますが、フリーで登れない岩を拓くのも登山文化のひとつ」に対し、檜谷氏は「人工は使わない。登れなかつたら登らない」と明快に反論。「フ



谷川岳・マチガ沢氷上訓練
1999・4

リー化は逼塞していた日本の岩場を活性化」したと主張した。お二人の発言通り、このあ

と人工登攀を駆使した高所登山の発展とフリークライミングの隆盛が日本のクライミング界の大きな流れとなってくる。吉尾さんは1996年〜2000年まで全国連盟会長を担うが、2000年3月、谷川岳一ノ倉沢滝沢リッジ登攀中に滑落死する。前出の遺稿集の序文で古川純一氏は「彼が54歳の時、畳の上では死にたくないと言っていた」と書いており、同著の編集に携わった西本武志元労山会長も「人の目には遭難死・悲劇と映ったとしても……私は生への壮烈なたたかいをたたかいた見事な死にざまだったとうけとめています」と結んでいる。(つづく)

(注1) 登山創立メンバーは、この6名以外に10名。木村禎八郎(元社会党参議院議員)、黒田寿男(弁護士)、小林国夫(地質学者)、高倉テール(小説家、田辺和雄(植物学者)、中島健蔵(評論家、

平野義太郎(法学者)、丸木位里・俊子(画家)、山本薩夫(映画監督) 2020年11月14日、登山創立60周年記念講演会・レセプションが開催された。それに合わせてA4判120ページの記念誌「登山の60年」が発行された。有償で販売している。

(注3) 1925年東京文京区生まれ。兄・姉は生後すぐ亡くなり一人っ子として育つ。小学校を出てすぐ東京海上火災に就職、夜間中学に通う。17歳の頃、丹沢で岩登りをやり、熱病のように山狂いとなる。暁星山岳会に入会。谷川岳一ノ倉沢に通い滝沢下部を登攀。戦後は日本山嶺倶楽部で活動。山行記録・評論など70編以上、岩登り技術の映像化や山岳記録映画40作近くを製作。病のため46歳の若さで自死。

(注4) 「鉄の男」と呼ばれた登山家。18歳で山学同志会に入会。1959年1月(20歳)谷川岳一ノ倉沢立岩北稜を冬期初登。1967年(28歳)マッターホルン北壁冬期第3登。1970年日本山岳会エベレスト登山隊に参加。翌年グラランド・ジョラス北壁ウォーカー側後冬期第3登。両足指10本、左手小指を凍傷で切断。1976年ジャスー北壁無酸素初登頂。1980年にもカナンチエンジュンガ北壁無酸素初登頂を隊長として指揮。1996年(57歳)マナスル登頂後、下山中に方向不明となる。1985年8月、東京・東村山(現・野火止山の会)で小西さんは講演しており、その際筆者は同席。夜の懇親会で言葉交わした。8000m峰をいくつも登るような厳しい感性などみじんもなく、穏やかな人柄だった。このことは交友のあった吉尾さんも多くの場で語っている。

(注5) 本誌2021年4月号P17(注9)参照



コロナ禍とワクチンと、特別連休の山



標高 1480 m の面平レンタルテント・キャンプ場、登山道から見えない位置にあり、目立たない。原生林の中の素晴らしい環境である。ここで1泊し、翌日光小屋へ入れば問題なく登頂できる。百名山光岳リーチの登山者に大うけである。

活気〴〵という見出しが躍る。だが内容は、山小屋としては感染対策で宿泊定員を削減しており、コロナ前の水準の半数という話である。しかし、行動自粛でウズウズ登山者の気持ちは爆発寸前、もうどこでも行ってやろうと捨て鉢に近い。管理されている小屋やテント場のない、我がエコ登山推進の地、南アルプス深南部の信州側遠山郷は

どんな状況になるのだろうか？興味津々であった。私はレンタルテント・キャンプ場のチェックのため、7月23日に面平へ上ることになっていた。ちよっとぐずついた天候で雨になりそうだが、行くことにした。

遠山郷では、光岳や聖岳の登山口となる芝沢ゲートから先の市道が4年振りに開通した。18年の夏、豪雨により道の数箇所が崩壊、今年やっと修繕が終わって通行禁止が解け、歩けるようになった。正式にはこの7月1日からである。それまでも登山者は自己責任で、芝沢からの林道を進んだ。大変なアルバイトで高巻き3箇所を通過、ヒルに気を付けながら易老渡の赤い橋にたどり着くという段取りである。

年間の登山者はコロナ前の19年で約700人、コロナ禍の20年は集計ができていないが、推測で300人ほど。今年のシーズンもコロナ禍は続くが、ワクチン接種を口実にし、緊急事態

岳県・長野の7月22日地元紙には、夏山戻ってきた

コロナ禍が収まらない中、ついに2020東京オリンピックが無観客で始まった。競技に命がけのアスリート達に責任があるわけではないが、何が何でもやろうという政府の面子には開いた口がふさがらない。7月最終週、東京のコロナ感染者数は3000人に垂んとす。カレンダーにもなかった五輪特別旗日、国民の休日4連休の影響が出るのは、8月の第一週である。とんでもないことにならなければと案ずる。さて、この4連休は梅雨が早く開けたことも後押しとなり、各地の山は突然!!夏山本番、多くの登山者が入山となった。

登山時報 2021年9月号 18



芝沢駐車場の道路側に、路肩駐車が行われていた。見事な停め方と褒めたいくらいすき間はなかった。7月23日

宣言の合間を縫って、5月から7月上旬にかけ、すでに200人近く入山したと思われる。週末ごとに10人程度で密にならない。そして、この五輪特別4連休を迎える。小屋もない、トイレもない、何もない遠山谷から

の登山者は、そうは多くないだろうと高をくくったが、あに凶らんや、とんでもない光景に出くわしたのである。

こ数年見たこともないような光景が眼前に。なんと収

容50台の芝沢ゲート駐車場は満杯で、道路の脇のちよつとしたスペースもすべて駐車。一度直進したらバック以外できない状況で、路上駐車のひとつの車は下を向いていたのである。なんと北又渡の本谷砂防ダムの下まで、160台を超える車の列だった。大人気燕岳の登山口中房周辺の駐車場という駐車場が満車のうえ、有明荘の下まで路肩駐車という光景を思い出した。

今年は稜線にある静岡側的小屋はすべてコロナ禍で閉める方針と聞いている。避難小屋利用という、テント以外一切合切を準備せねばならない状況はここ数年変わらない。静岡県側のアプローチや登山道の状況もすこぶる悪い。毎年のごとく微増が

なおさらである。多分、200

台近くが押し寄せたに違いない。単独行の多い光岳、聖岳の入山者が一人一台で訪れたとしても160人以上が入山したことになる。北アルプスや八ヶ岳の人気の山なら一日に千人は常識である。南アルプス深南部に数百人とは、行動中は密にはならないけれど、避難小屋やテント場では管理人がいらない以上、登山者同志どう対処するのだろうかと心配になった。

我々は特別許可でゲートのさらに奥に入れたが、そうでなかったら身動きも取れず、目的は果たせなかった。さらに奥、易老渡の周辺には折りたたみ自転車13台、対岸の林の中に2台あった。道路交通法では自転車も車扱いはずだが、一般車通行止めのみゲートのある道路を、できるだけ快適にと、登山者はいろいろ考えるのだと感心した。

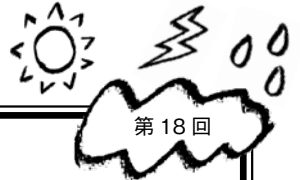
面平までは急登2時間だが、日帰りだったため荷も軽く快適に歩けた。小雨も気にならない

森林帯の歩きは意外に涼しく、多くの広葉樹が傘の代わりをしてくれる。こんな素晴らしい森林歩きと、鳥や動物達と一体感のある登山ができるのは、ここの大自然のお陰である。

ただ、少々気になるのが、すれ違う登山者の多くが中高年の単独男性ということ。声をかけると、一人がいいのか？ 返事が返るのは比較的若い人ばかりで、高齢者は言葉を発せず睨み返してくる。南アルプス食わず嫌いで一緒に行ってくれる仲間がいらないのか、一人歩きの気軽さがいいのか？

なんとも気になる。ここの遭難事故のほとんどが単独行だ。高齢になればスキルも下がり、自分本位の行動には何かと甘えが入る。登山の本質に立ち返ることができるのは、仲間がいてこそである。

いずれにせよ、辺境僻地の限界集落に登山客が戻ってきたことは大いに歓迎すべきことで、今後の地域活性化にいくばくか御役に立てたら、エコ登山を推進するわが身として、うれしい限りである。



山登りのための やさしい気象講座

気象予報士・野尻英一

雲からどうやって 雨が降るのか

雲の水滴が成長して雨粒になる

雲はごく小さな水滴や水の粒
でできているが、雨は雲粒が多
数集まってできる。雨粒の大き
さは直径十分の一ミリから数ミ
リだが、雲の粒は直径十分の一
ミリから百分の一ミリ程度で、
体積に直すと雨粒の数百万分の
一だ。つまり雲の水滴が数百万
個も集まってやっと一粒の雨が
できる、と言うとちよつと奇跡

的な感じもするが、降雨時には
その奇跡が無数に起きているわ
けだ。

その奇跡の仕組みは、簡単に
言えば雲粒が衝突し合い合体を
繰り返すことだ。空気中の水滴
は地球の引力で落下しているが、
その落下速度は大きい水滴ほど
速い。物理学に詳しい方なら「落
ちる時には物体の重さに関わら
ず同じ速度で落ちるはずではな
いか（ガリレオの法則）」と思わ

れるかもしれないが、雲粒や雨
粒の場合は空気抵抗が作用して
小さい粒はなかなか落ちてこな
い。落下速度は直径十分の一ミ
リの雲粒なら一分間に2mmだが、
直径十分の一ミリになれば18m、
一ミリなら240mと言われて
おり、まさに桁が違う。そのた
め図1のように大きな雲粒がど
んどん小さな雲粒を吸収し粒が
大きくなっていく。

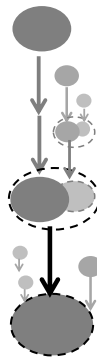


図1 雲粒が雨粒に成長する模式図

また、温度が氷点下の場合に
は雲粒の中に水の粒が混じるが、
水の粒の表面には空気中の水蒸
気が極めて急速に凝結するため
粒が速やかに大きくなること
が知られている。それが降って
くる途中でとければ雨、とけな
ければ雪になるわけだ。

大雨になる条件とは

大雨になる条件は水蒸気が多
量に含む空気があることと、そ
れが上昇気流などで冷えて雲粒
が大量にできることだ。大気中
に塩粒のように水蒸気を吸収す
る微粒子が多ければさらに水滴
ができやすくなる。例えば、屋
久島は「ひと月三十五日雨が降
る」と言われるほど雨が多いが、
島の周囲は黒潮が流れ高温で水
蒸気が充満しており、高い山が
あるためその斜面で上昇気流が
起きやすい（5月号の山風の記
事参照）。また、海から絶えず海
塩の微粒子が舞い上がり、まさ
に雨粒ができやすい条件だ。九
州、四国、紀伊半島、東海の太
平洋側の山も似たような条件で、
南の海から風が吹くと雨になり
やすい。

2019年5月の屋久島の豪雨

さて、雨の日のハイキングも
相応の準備さえあれば対応でき

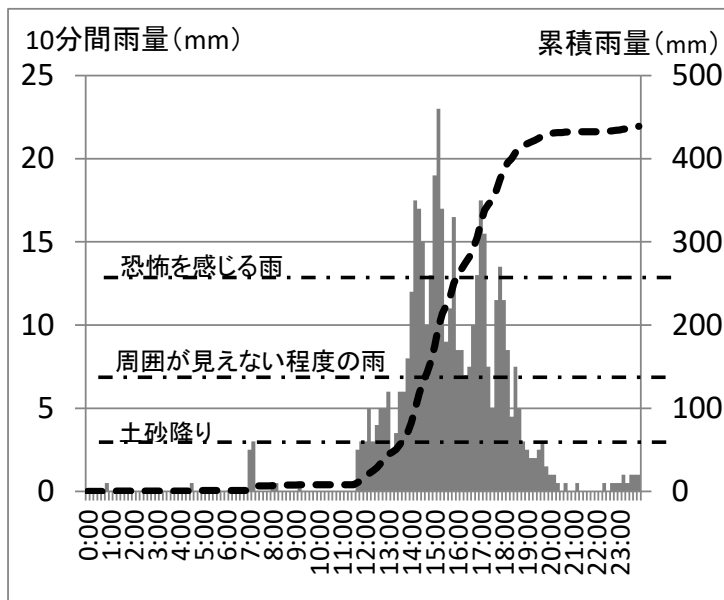


図2 屋久島豪雨(2019.5.18)の時の雨量(屋久島アメダス)

10分間雨量を棒グラフ、累積雨量を折れ線グラフで表した。11時30分頃から雨が降り出したが、山中ではそれより早く9時頃から本降りになった。

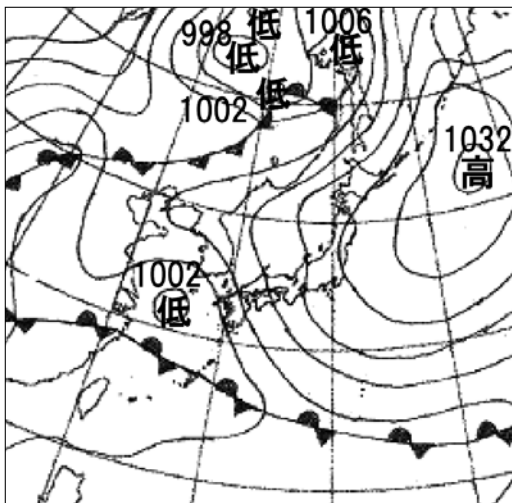


図3 屋久島で豪雨になった2019年5月18日の天気図

るが、これが大雨になると沢の増水や鉄砲水、崖崩れ、足場崩落など危険となる。前述の屋久島では2019年5月18日に豪雨で登山者ら314名が山中に孤立した(全員翌日救助)。図2がこの時の屋久島アメダスでの降り方だが、麓でも周囲が見えないほどの雨が断続的に4時間

続き総雨量は400mmを超えた。アメダスは平地にあるが、山中では午前中から降り始めていたという。屋久島は山が深く、例えば縄文杉は往復10時間、宮之浦岳往復は11時間とコースタイムが長い。そのため朝早くから出発する。屋久島の山岳ガイドは大雨警報の

ときは入山しないルールだったが、このときは警報発表が午後になったため既に多数の登山者が出発した後だった。また、大雨は前日から予想されていたものの予想雨量は200mmで、実際の雨量はその倍を超えていた。最近の大雨は、予報を超えた従来にはないような降り方になることも多い。雨の降り方が変わってきたとも言われている。雨の降り方に異様さを感じたら行動中止など安全を図ってほしい。

スポーツのひろば

2021 No.539 9月号

定価 290円
年間購読 3,600円



CONTENTS

五輪開催といっても競技会場は「無観客」

聖火は公道を走れずリレーはつながらない

広島 二葉の里歴史の散歩道 ～鎮守の森の語り部たち

スポーツ記者の「視点」 暴力・パワハラ、非科学的な指導

スポトピ ナチスのベルリン五輪と「人民オリンピック」
スパイクボールってなんだ？

発行 = 新日本スポーツ連盟

ホームページ
<http://www.njsf.net>

東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル 402
TEL 03-3986-5401 FAX 03-3986-5403

う総合山岳会であること。②初心者をサポートにベテランの「担当者」の存在があること。③グループLINEを活用して、連絡、写真の交換など速やかに行っていること。④「スノーハイキング」を確立することで、オー

ルシーズン登山者が増えたこと。⑤公式ホームページでの登山活動の掲載、SNSでの宣伝等。⑥オンライン会議Zoomの活用で各種会議の確立と会員教育の実現、と語った。

平均年齢70歳の西山HC

会員数156名で

年間300山行を実施

西山ハイキングクラブ（西山HC）の特徴は、大量のリーダー養成制度・中級登山教室の開催である。毎年20〜25名が修了し、その中から現在40名余りのリーダー、サブリーダーが育っている。コロナ禍でも「登山・ハイキングは国民の権利、健康で文化的な生活を送るために不可欠」として山行を一律には中止せず、

2020年も240回の山行（延べ参加者2800名）を実施してきた。

また、西山HCには「個人山行の禁止」の方針がある。このクラブ方針について、報告した馬場重明さんは「グループ化を防ぐための制度」と強調、会員の登山要求は多数の会山行で十分満たされていると胸を張った。参加者からは、この特徴的で素晴らしい活動に驚がくと感嘆の声が聞かれた。

創立31年、7名から276名

の会員に！ 倉敷HC

倉敷ハイキング倶楽部（倉敷HC）は地域に根ざした「ハイキングスクール」を2011年から開講し、毎年修了者を会員として迎え入れて発展してきた。募集チラシを毎回3千枚作成して公民館を中心に配布、さらに倉敷市の後援を得て広報にも掲載、地元FMラジオも協力する中で、毎年の受講者は60名近くにふくれあがった。この講

座のテキストは全国連盟発行の「ハイキングABC」を採用。「登山生理学や遭難対策」などを加味して充実した内容にしている。山行リーダーについては各山行別（サンデー・ウィークデー等5部門）で決定、もし不足の場合は「80名規模のリーダー会議」で決めており、「順調に推移している」と盛重忠行さん（報告者）は自信をのぞかせていた。

108団体がアンケートに回答

コロナ禍でも各会に入会者

この会議に向けて108団体から寄せられたアンケートの結果が、石川委員から発表された。

詳細は別の機会に出すが、昨2020年の1年間に、80%以上の団体が新入会員を迎えている。しかし、退会者がそれを上回ったため、全体としては会員減少となった。また、会の規模に関わらず、どの団体でも全会員数の10%程度の新入会員を迎えていた。新入会員を得るため

の方策として各団体が採用しているのは、ホームページが多く70%前後、登山教室が30%前後となっている（重複記入可）。コロナ禍の影響については、2020年の前半では9割以上の団体が影響を受け、後半でも7割近い。やはり大都市圏の会・クラブへの影響が顕著だったようだ。

この会議を跳躍台に

ここでは報告しきれない多くの議論がなされた。今回出された経験・教訓は、コロナ禍を吹き飛ばすのに十分だった。地方連盟と会・クラブがうまく連携している例、同じ地域の先輩クラブに追いつけ、追い越せと頑張っている例、年間一人2回はリーダーをやるうと呼びかけ成功している例など、その知恵と工夫は枚挙にいとまがない。この経験・交流・議論を跳躍台として、多くの会・クラブが発展することを願っている。（田上千俊／全国ハイキング委員長）

遭難時の捜索技術をテーマに福岡県で開催

全国救助技術交流集会

吉永直樹

福岡県連理事長／全国連盟理事

遭難対策部員

第三回全国救助技術交流集会

2021年7月3日(土)～4日(日)

開催場所：福岡県糟屋郡篠栗町

屋内講習・宿泊「福岡県立社会教育総合センター」

捜索実技訓練場「篠栗町樹芸の森」並びに「国立九州大学福岡演習林」

参加：58名(北海道2・宮城1・東京2・千葉1・神奈川1・長野1・愛知2・大阪1・兵庫3・広島4・愛媛1・長崎1・福岡20・全国12・その他6)

主管：福岡県勤労者山岳連盟

主催：全国連盟 遭難対策部

1日目(7月3日13:00～)

開会式／最近の遭難事故統計と事例／最新の遭難捜索機器と民間救助組織について／スマートフォンを活用した位置情報検索／ココヘリ、ドローンの捜索紹介／情報交換・交流会

2日目(7月4日12:00まで)

ヒトココ中継器搭載のドローン飛行による子機信号の検索／樹芸の森斜面に設定のヒトココ子機検索訓練／閉会式



樹芸の森展望台でココヘリを説明する久我氏

第三回となる今回は、遭難者の位置情報を検索する捜索技術をテーマに行われた。昨年、初めてココヘリ登山捜索隊へ捜索依頼が入ったこともあり、まず

要救助者の位置を早く確認することが求められる初動に対して、どんな手段や組織が最前にあるのか学ぶ機会となった。

初日は、まず警察庁から発表された昨年の山岳遭難状況と、登山全体の事故データによる傾向分析。次に、携帯電話の電波域に関係なく自らの位置を発信させるGPSを使った機器、専用機器でSOSを送受信できるシステム、夜間専用のドローンによる捜索支援サービスの組織などを紹介。福岡県連救助隊からは、昨秋に行った捜索訓練の経験を踏まえ、遭難者位置検索について、携帯電話の電波域におけるスマートフォンを活用した位置情報発信と、電波域外での課題検証を提起。続けて、本社が福岡市のオーセンティックジャパン(株)代表取締役社長・久我一総氏によるココヘリの捜索事例や運用状況の報告。さらに、一昨年から登山と始めたココヘリ登山捜索隊(地上捜索)と、ヘリが飛べない気象条件時



初日、福岡県立社会教育総合センター

に補完する役割としたドローンでのヒトココ検索について紹介があった。また、宮城県連からは昨年行ったドローンによるヒトココ搜索訓練の報告が図解と動画を併用して行われた。

2日目は野外での搜索訓練。研修会場からほど近い篠栗町の「樹芸の森」展望台広場を起点とし、隣接する九州大学演習林内にヒトココ子機を事前設置、ドローン飛行による位置検索を行った。天候は時折雨が降り風も強い中、ドローンはそれらを問題とせず検索したヒトココ子機のほぼ上空まで移動し、GPSで緯度経度情報を捉えることができた。

また、参加者は樹芸の森内に設置のヒトココ子機を親機で検索する訓練を行い、受信特性を実感しながら位置を特定させていた。

福岡県連は昨年からは毎年7月11日の県連設立日を「遭難追想の日」と定めている。年に一度過去の重大事故を振り返り、その時に反省したことや亡くなっ

た仲間へ誓ったことを思い出し、自分たちの心に気の緩みや慢心があれば、それらを振り払うことも必要と考えた。その7月に福岡県で本集會が行われたことは、コロナ禍で活動が思うようにできない時期でありながら、全国各地から集まった労山仲間と交流し、いかに遭難した仲間を早

く捜し出すかということに的を絞った内容で、福岡県連からの参加者も良い刺激になったと思う。これからも、遭難事故を起こさない技術や知識、事故を起こしても命を落とさず助ける技術や知識を継続して学び続けることが大切であると、改めて感じた。

今後も「事故を未然に防ぐ」とともに「遭難者の迅速な発見」を目指していく

無事終了出来たことに、すべての準備を進めて頂いた福岡県連の役員、救助隊の皆様に変更感謝申し上げたい。特に、国有地や篠栗町へのドローン飛行許可申請やヒトココ子機の設置などにご苦労いただいた。

遭難時の搜索には、遭難者の位置情報が必要となるが、労山ではココヘリ加入を推進している。20gの発信機の携帯が行方不明時の手がかりや生存救出に繋がる。今回はドローンを活用した訓練を行ったが、ヒトココ親機についても新たに機能を知るなど得る事が多かった。

コロナの影響もあり他県の状況・現状を十分に聞けなかったのは残念だったが、事故を未然に防ぐ取り組みがすすみ、搜索活動のスピード化で行方不明や死亡事故が無くなることに繋がってほしい。

(石川昌／全国連盟 遭難対策部長)

今後多様なテーマで実施予定

ぜひ参加を!

オンラインで講演会

全国登山研究集会に向けての課題別講座（第1回労山基金・第2回遭難対策）を実施

全登研開催はコロナ禍で延期

コロナ禍により、今年開催予定だった「全国登山研究集会」（全登研）は来年の開催となりました。できる限り多くの仲間が顔を合わせて、忌憚のない意見交換をしたいと考えたからです。

そして、さらに全登研の内容を充実させるために、現在の労山組織と会員にとって重要な課題は何かということを探ろうと、Zoomを利用して何回かオンライン形式で講演会を実施したいと考えました。

今後いくつかの課題別講演会を開催します。これは全国連盟と会員とが直接コミュニケーションをとる機会です。主催者側も試行錯誤しながら講演の内容と方法を改善していきます。会員の皆様から様々な意見や提案をお願いします。

（久保典子／全国組織部長）

全国登山研究集会は労山の創設期から定期的に開催している催しで、著名な登山家等による特別講演や分科会などが行われる。前回は2018年11月23日～24日に愛知県民の森で開かれた。

第1回テーマ「労山基金の魅力」

講演者：川嶋高志（全国連盟事務局長）

日程：6月29日（火）19:00～20:30

申し込み：約100名

聴講：71名

講演の感想（抜粋）

業法成立後の存続経緯について説明があり、よくわかった。

○基金発足の歴史については今まで知らなかったもので、非常に勉強になりました。

○労山基金の成り立ちから法律の変化のお話で、私のような一年程度の初心者にはなぜ「寄付金」なのかがよく理解できた。

○労山基金の根本的精神を改めて知ることができ、納得することが出来ました。これから入ってくる会員に対しても、自信をもって説明が出来ると思いました。

○会として、第2種団体に加入することを検討したい。

○労山基金の歴史から学ぶことができたことで、保険とは全く異なる基金の価値を確認することができました。

○給付の実情や、第2種団体の対象を救助・捜索にしたことは、認識不足で今回知りました。基金も時代や状況に合わせて変わってきたのだと感じました。

○事前の安全対策のひとつである雪崩講習に基金が有効に使わ

- 寄付金をなぜ一年間預かっておくのか疑問が解決しました。
- 基金を新会員さんに自信をもって勧められると再確認出来て良かったと思います。
- 長い歴史の上で今の基金があるのがよくわかりました。
- 遭難事故の歴史をたどり、基金創設、後払い方式に至った過程を興味深く拝聴しました。
- 労山基金の成り立ちや新保険

今後のオンライン講演会の予定

第3回 《終了》	7/20 (火) 19:00~20:30	テーマ「自然保護」～自然保護は登山の旗！ 登山者の安全と命を守る避難小屋を語る～ 講演者：森初芳 (栃木県連 自然保護委員長)
第4回	8/17 (火) 19:00~20:30	テーマ「平和と登山」 講演者：荒木辰彦 (福岡県連 会長)
第5回	9/1 (水) 19:00~20:00	テーマ「わかりやすい文章の書き方」 講演者：石川友好 (全国連盟 副理事長)
第6回	10/8 (金)	テーマ「組織拡大」～楽ちん楽々HPの作り方～
第7回	近日中に確定	テーマ「組織拡大」～コロナ禍でも会員拡大はできる～
第8回	近日中に確定	テーマ「登山の魅力」～中高年からの楽しいクライミング～

れていることはよくわかりましたが、地方連盟がやっていることも含め、事前の安全対策について大々的にアピールしてはどうかと思いました。

○基金には10口加入している。遭難した時にとの意識で、その内容、故事来歴はよく知らなかったが、今日の講演でよく理解できた。

○歴史経過もわかり、興味深くもあり、聴いて良かったと思います。基金も共済みたいなものと思っていました。保険業法適用により現在のような後払い形式になったことを初めて理解しました。参加して聴講して良かったです。

○死亡障害や捜索救助で交付された年間総額よりも寄付金総額が多くなった場合の剰余金は、安全対策引当金として計上され、安全対策基金として登山主催の安全講習会や各地区連盟の安全講習に役立てられており、この点が共済組合と大きく異なることが理解できました。

○これまで積み上がってきた引当金額のおかげで、寄付金金額の最大400倍まで交付される制度も仕組みが分かり、とても良い制度を登山は作り上げたとして、設立当時尽力された方々の気持ちに分かりました。

○登山基金の精神、相互扶助、くだけでカンパしよう…をなげに率直に言っていると思います。

○このようなネット講演会が多くとあると、登山のことや活動を理解する一助になると思います。



お申し込みは、日本勤労者山岳連盟のホームページからどうぞ。トップページのTOPICS部分(写真の黒太字で囲んだ部分)を参照。

特設フォームに入力して申し込むと、講演を視聴するためのURLがメールアドレスに送信されます。

視聴にはインターネットにつながる機器(パソコン・スマートフォン・タブレットどれでも可能)が必要です。

第2回テーマ「遭難対策」

講演者：石川昌 (全国遭対部長)

日程：7月16日(金) 19:00～20:30

申し込み：約90名

聴講：64名



○ 労山基金運営委員会

長野県連で労山基金実務の

説明会を開催

2021年6月26日(土)、松本市あがたの森文化会館において、長野県連の会・クラブの基金担当者及び県連役員の方が参加して、基金全般に関する説明会が開催された。当説明会は、労山基金に実際に関わり、事故一報の届けや交付申請を取り扱う方に対して、実務の習熟を目的に行ったものである。長野県連12団体から8団体(16名)が出席したので出席率が高かった。実施内容の中で関心が高かったのは、労山基金の特長と他の保険との比較だった。会員にはjROと労山基金に二重加入している方もいたので、救助捜索費用の分担割合などについて質疑が交わされた。

また、救助隊の日当についても質問があった。救助捜索の日当には、遭対協からの請求は限度額内であれば無条件で支払っていること、地方連盟救助隊と

して出勤した場合は、冬季の場合15000円/人、夏季10000円/人を上限として交付していること、現在は救助捜索の当該会から出勤した隊員も区別なく交付対象にしていることを話した。

このほか、海外登山の山行届け先について、全国海外委員会は勿論だが、長野県連の送付先に関して議論する場があった。(今野善伸/労山基金運営委員)

○ 山筋ゴーゴー体操推進委員会

「山筋ゴーゴー体操冊子

(2020年改良版)」の

購入をお願いします

山筋ゴーゴー体操講習会の申し込みが長野県連、埼玉県連、北海道から来ている。

山筋ゴーゴー体操の全会員への普及が2019年総会で決定された。地方連盟主催の講習会に、全国連盟が講師などの派遣を行う。講習会実施に際しては、講習目的や補助金について全国連盟から説明する時間を組み入

れ、講習会実施要項に沿った内容、時間で行っている。

コロナ禍の中、昨年岐阜で行った講習会は、ソーシャルディスタンスを配慮した会場の広さ、参加者の当日までと当日の体調管理、そして地域のコロナ感染状況を岐阜県連が配慮して開催した。コロナが落ち着いてきたら、「サポーター」会員がいない連盟、まだ講習会を開いたことのない連盟は、ぜひ開催してほしい。

推進委員会では、昨年、山筋ゴーゴー体操の冊子の内容を一部改良し、より分かりやすいものにした。また、「Tシャツ」を作成して普及に取り組んでいる。各連盟には、山筋ゴーゴー体操の冊子・Tシャツの普及に取り組み、「一人おうちトレーニング」をしている会員へのサポートをしていただけとありがたい。

(久保典子/
山筋ゴーゴー体操推進委員長)

○組織部

Zoom講演会は順調に

スタート。組織拡大に向かい

粛々と課題に対峙しています

組織部では、2月の評議会「資料」から組織数を増やした全国の会・クラブをピックアップし、組織拡大のコツを調査しまとめることになった。10月初旬をめどに調査報告書を作成する予定である。各地方連盟の代表者に、組織部の担当者が連絡をとらせようになっているので、ご協力をよろしく願いたい。

来年の全国登山研究集会（全登研）に向けての「課題講演会」は、全9回の内容・担当者も決まり、着々と進行している。講演実施日の運営にあたっては、部内だけでなく全国連盟事務局はじめ、他の部会、理事などの協力をえて取り組んでいる。第一回講演会では音声画面のトラブルはなかった。

この経験から、組織内機関が連携すると大きな力を発揮することを実感している。

来年の全登研開催に向け、組織部では課題への討議を積み重ねていきたい。

（久保典子／全国組織部長）

○遭難対策部

さらに注意力を高めた

登山を

6月2日から6月30日までに届いた事故一報は18件19名。7名が転倒（無雪期4名、登攀2名、沢登り1名）。11名が転滑落・墜落（登攀7名、無雪期と沢登り各2名）。1名が落下物（登攀）。男性11名、女性8名。所属連盟は、東京5名、埼玉3名、道央・京都各2名、他県連1名。70代3名、60代8名、50代5名、40代1名、30代1名、20代1名。

クライミングなどロープ利用での事故多発。リーダーの指導力や危機管理能力に問題がある。自力歩行不能者へのワンビーク搬出対応や登山道からの25mまたは40m滑落・転落など、よく死亡事故に繋がらなかった。また、人工壁でグラウンドフォー

ルも発生した。前号でもグラウンドフォーの事故が発生している。ヒューマンエラーによる人為的過誤や失敗をどう自分自身の事として捉えるかが重要。下山中の事故や沢・岩場等でのトラス中の事故が9件発生している。注意力和意識が散漫となり、これに下りで起こる疲労が重なることで転倒事故に繋がっている。下りでのより慎重な行動や基本的な確認・チェックが必要である。

（石川昌／全国遭難対策部長）

※事故一報の一覧表は次ページを参照してください。

6月2日から6月30日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因		傷病名	
1	05.22	京都	63	女	阿蘇山	無雪期	転倒	下山中、岩が動きバランスを崩し転倒	右膝内側靭帯損傷
2	05.29	神奈川	41	女	甲武信岳	沢登り	滑落	山の神手前の巻道から25m下の沢床まで滑落、5人パーティでザック搬送、ワナビーク後に自力下山し入院	膝関節部の骨折
3	05.29	東京	51	男	つづら岩	登攀	滑落	確保の練習中にリードが滑落、第2支点のハーケンが破損し、グラウンドフォールした	右手首骨折
4	05.29	東京	60	女	つづら岩	登攀	落下物	確保練習中にリードが滑落し、中間支点のハーケンが抜け、確保者を指導していた者の手に当たった	右手挫創・打撲
5	06.02	埼玉	62	女	中里の岩場	登攀	滑落	リード練習中に3ピン目の上で滑り落下	左足関節内果骨折
6	05.21	愛媛	53	男	ジム（ブレイブ）	人工壁	墜落	最上部より墜落、張り出したホールドに足が当たる	アキレス腱断裂
7	06.06	道央	51	男	赤岩青巖峽	登攀	墜落	ランニングピレーが取れず3~4m墜落	左足関節靭帯複合断裂
8	06.06	宮城	59	男	鎌倉山	登攀	転落	浮石と共に転落、背中から落下	腕擦過傷・打撲
9	05.23	東京	23	男	瑞牆山	登攀	墜落	足を滑らせ墜落	関節側副靭帯損傷
10	06.05	東京	71	女	高水三山	無雪期	滑落	下山中、木の根を避けて滑り崖を滑落	打撲症
11	06.13	長崎	71	女	九千部岳	無雪期	転倒	下山中、転倒し倒木に手を突いた。	右指脱臼・挫創
12	06.16	埼玉	65	女	ジム（バンブ1川口）	人工壁	滑落	リード中、1ピン目直前でスリップしグラウンドフォール	左足かかと骨折
13	06.05	福岡	31	男	脊振山系	沢登り	滑落	滝の突破直前でスリップ3m滑落する	左肩脱臼
14	06.15	岩手	61	男	秋田駒ヶ岳	無雪期	転倒	下山中、浮石でバランスを崩し転倒	打撲傷
15	06.06	東京	53	男	太刀岡山	登攀	転倒	岩場基部を移動中に傾いた濡れた岩で足を滑らせた	骨盤右腸骨骨折
16	6.26	京都	68	女	武奈ヶ岳	無雪期	転倒	金萇峰から下山中に大きな石の上で足を滑らせた	左手首骨折
17	6.27	道央	67	男	発寒川	沢登り	転倒	遡行中にぬめった岩で足を滑らせ転倒	左肩打撲
18	6.12	岐阜	63	男	浄土山	登攀	転倒	龍王岳東稜を登攀後、下山中に転倒	右肋骨骨折
19	6.13	埼玉	71	男	金精山	無雪期	転落	金精峠へ下山中に登山道端を踏抜き斜度40度位を約40m転落	頭部顔面裂傷、胸部気胸

事故一報の受領順で掲載

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1	1	0	5	3	1	11
女性	0	0	1	0	5	2	8
合計	1	1	1	5	8	3	19

	墜落	転落	滑落	転倒	その他	合計
男性	3	2	2	4	0	11
女性	0	0	4	3	1	8
合計	3	2	6	7	1	19

	無雪期	登攀	沢登り	人工壁	合計
男性	2	6	2	1	11
女性	4	2	1	1	8
合計	6	8	3	2	19

	骨折	損傷	断裂	打撲	他	合計
男性	3	3	2	3	0	29
女性	4	1	0	2	1	21
合計	7	4	2	5	1	50

- 3～4日 全国救助技術交流集会
(福岡県立社会教育総合センター) 浦添理事長、白井・久保副理事長、川嶋事務局長、赤間・石川・大和田・早川・吉永理事が参加
- 5日 自然保護委員会
- 10～11日 全国自然保護講座(京都市・あうる京北) 浦添理事長、久保副理事長、澤村・竹本・山本尚理事が参加
- 13日 組織部会
- 14日 登山時報編集委員会
- 16日 (全国山岳遭難対策協議会(東京・文部科学省) 白井副理事長、川嶋事務局長、石川理事が参加
- 同日 第2回全国登山研究集会上に向けた課題別講演会(遭難対策)
- 20日 三役会議
- 同日 山筋ゴーゴー体操推進委員会
- 同日 第3回全国登山研究集会上に向けた課題別講演会(自然保護)
- 26日 ハイキング委員会

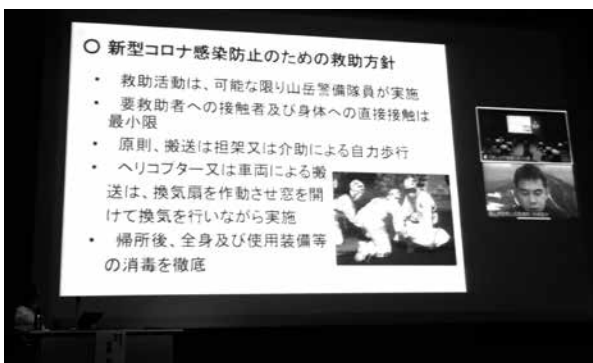
- 27日 労山基金運営委員会
- 29日 第17回理事会

第17回理事会、討議事項

①全国機関誌委員会について
地方連盟役員から委員を追加で5名、選出する。9月以降1～2回の委員会を開催して、来年の全国総会に機関誌(登山時報)の今後のあり方を提案する。

②全国総会に向けて
来年の全国総会や全国登山研究集会などの行事について、体制を構築し準備を進める。

登山会員の「ココヘリ」入会金無料は8月31日をもって終了する。9月以降は、通常の入会金(3300円)が新規加入時に必要となる。



全国山岳遭難対策協議会で富山県山岳警備隊の飛弾晶夫隊長によるリモート講演



全国救助技術交流集会2日目の訓練終了後、記念撮影



しっかりやってみよう。



私の会でも...

FROM EDITOR

新型コロナが止まらない。オリンピック開催中の外出自粛要請は、国民感情から理解が得られない。昨年は激減した登山者が、今年は増加している。長野県警によると、7月の4連休、21件の遭難が発生し2人が死亡。高齢者と単独者が目立つ。(塩田)

関東甲信越は例年より3日早く梅雨が明けた。登山の季節到来だが、夏草が茂るばかりでなく、蝉が一斉に鳴いている。ジジイの油蝉、ミンミン蝉、シャーシャーの熊蝉、ニイニイ蝉と時雨のように鳴いている。コロナ禍の耐久生活も限界だ。空蝉にならないようにしないと。(今野)
梅雨明け、例会山行で会津駒ヶ岳を実施。7名が参加したが、内2名が7合目付近で足がかり、仕方なく最奥の中門岳までと駒ヶ岳往復組にパーティを2分割。明らかにトレーニング不足と登る山への無理解からくるアクシデント。何回も繰り返されるトラブル。(田上)

マダニが媒介する日本紅斑熱に罹る人が増えているという。鹿をはじめとする動物が増えているのが原因の一つらしい。SFTSもそうだが運が悪いと命を落とすことも。山で一番気を付けなければならないのはマダニかもしれない。(酒井)
梅雨明けとともに猛烈な暑さとなった。いつも登っている愛宕山であるが、梅雨明け前と全く違う。湿度が高かった時にもそれなりに苦しかったが、今は水分を求め呼吸が苦しくて思い通りの時間で登れない。高齢による体力低下よりも暑さに順応できない熱中症か?(小倉)

過半の反対世論無視で東京五輪強行開催。IOC、政府、組織委、東京都は、その意義も語れず、五輪をこれほどまでに貶めた責任を一体どう取るのか? そして新型コロナ。やるべきことをやらず、ひたすら自粛とワクチン頼みでは、感染拡大は必然。(鈴木)

登山時報

©禁無断転載

9月号 No.559 2021年8月15日発行

編集長 今野善伸
副編集長 橋口晴彦
編集 酒井正裕、田上千俊、渡辺明(進行)
校正 小倉迪夫、塩田善次郎、鈴木幹雄
DTP・デザイン 来住真太

発行人 浦添嘉徳
編集人 今野善伸
発行 日本労働者山岳連盟
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24
TEL 03-3260-6331 メール jwaf@jwaf.jp
印刷 株式会社 ウイング・コア



佐藤美知弥さん

1975年、北海道むかわ町生まれ。父は建築業、母は医療事務の鍵っ子だったが、わんぱくでやんちゃな子供時代。小学校ではピアノを習い、百人一首で全道大会に。中学テニス部、高校書道部、大学はフィールドホッケー部でマネジャーを担い、多感な青春時代を過ごす。卒業後、TVの影響で薬剤師をめざすが、医薬品の小売業に就職。登録販売員となり、20年余り働く。キャリアの途中で化粧品の担当となり、現在に至る。初めての登山は札幌市の三角山（標高321m）。スマイル・マウンテン・クラブ（道央連盟）所属。

Sato Michiya



大病を機に登山の世界を知る

できたてほやほやの躍進中の山岳会へ

全国ハイキング活動者会議で報告

6月26日に行われた「全国ハイキング活動者会議」（全国連盟事務所を基点としたオンライン会議・本誌22ページ参照）で佐藤さんは単身上京し、パワーポイントを駆使して所属先のスマイル・マウンテン・クラブ（SMC）と道央連盟の活動報告を行った。この中で「SMCの6つの強み」を披露。創立3年で50名近い会へ急成長した理由を語った。

佐藤さんは入会してわずか2年。「一生かけて付き合いたい趣味」になったと語るその山行活動は、激しさを増しているようだ。今まで最も感動した山はと聞くと、「羊蹄山（日本百名山で蝦夷富士とも呼ばれる。標高1898m）で、4〜6時間の登山コースに11時間もかかってしま

いました。」と答えた。苦勞してパーティ全員が登頂できた感動は忘れられないそうである。佐藤さんは42歳で大きな病気を経験、自身の健康状態を再認識した。手術の影響で左手にハンディキャップが残る。そうしたなか模索していると、モンベルのスタッフに紹介されてSMC（2018年9月創立、代表の早坂さんは本誌2021年5月号「ひと」欄に掲載）に入会した。現在ハイキングを中心に行い、冬はBCスキーを1割、スノーシューハイキを9割とオールシーズンの山行スタイルを確立している。SMCは総合山岳会なので、スノーシューハイイクに雪山技術を導入して安全を担保しており、これがオールシーズンの山行を可能にした。総合山岳会のメリットを生かし、ハイキングから沢登

り、クライミングへの挑戦も可能だということである。

これからどうする。希望・目標は？

ハイキングを続け、厳しい山へも挑戦し、縦走やテント泊もしたい。そして、札幌50峰の完登を目指している。完登できたら北海道百名山、日本百名山をめざしたいと、45歳からの新たな挑戦に燃えている。景色や花、コースタイムなどにこだわらず、できるだけ多くの山に登るのが目標らしい。会内でも山行リーダーや役員を任されているが、現在担っている道央連盟理事などにとどまらず、さらに多くの責任が増えそうな雰囲気だそうだ。

SMCにとどまらず、これからの道央連盟の要として成長してもらいたい人である。

（本誌・田上千俊）



温泉講座

第2回

温泉と卵の科学

古田靖志 下呂発温泉博物館 名誉館長

登山中の食事は、たとえ質素なものであっても最高においしく、幸せな気分になります。温泉地の食も同様です。今回は、温泉地の食のスーパースター「卵」を、科学の目で見てみることにしました。

「温泉たまご」とは

温泉地に行くと、お土産屋さんの店頭や源泉広場のような所で、「温泉たまご」がつけられ、売られている光景を目にします。温泉まんじゅうの看板などと共に温泉地の風情を醸し出しています。

「ゆで卵」は、普通のお湯で茹でて、黄身も白身も固まったものをいいます。茹でる時間を短くして黄身を半熟にすることもあります。

これに対して、いわゆる「温泉たまご」は、一般的には黄身が固まっていて白身が完全に固まっていない状態のものをいいます。半熟たまごとは固まり方

が反対であることから「反対たまご」と呼ぶこともあります。

卵の白身は、60℃ぐらいでゼリー状に固まり始めますが、80℃ぐらいにならないと完全に固まりません。黄身は70℃に満たないぐらいの温度を加え続ければ固まる性質があります。

「ゆで卵」をつくる時は、沸騰した高温のお湯で長時間茹でますので、殻の外から中の黄身まで100℃近い熱が伝わり、白身も黄身も完全に固まります。

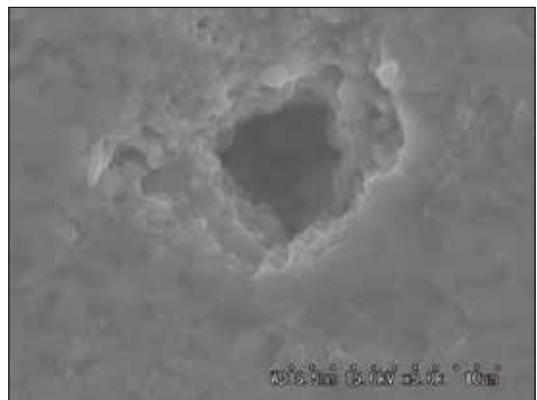
一方、「温泉たまご」は、65℃〜70℃ぐらいの温泉に長時間浸して作ります。長時間茹でても白身を完全に固まらせる温度には到達しないため、白身はいつまでたっても半熟状態のままです。70℃近い熱が黄身まで伝わると、黄身が固まるので、黄身が固まって白身が半熟の「反対たまご」ができます。

「温泉たまご」の味

それでは、本物の温泉に浸し

てつくる「温泉たまご」は、普通の「ゆで卵」と味が違うのでしょうか。

卵の殻を電子顕微鏡で見ると、殻にはいくつもの小さな穴が開いていることがわかります。食紅で着色したお湯で卵を茹でると、殻の内側の白身の表面に赤い斑点がいつぱい付くので、食紅が卵の殻を通過していることがわかります。すなわち、温泉



電子顕微鏡で見た卵の殻の穴

で茹でることによって、温泉成分のほんの一部が卵の殻の穴から内側に入り込み、かすかな温泉の味がついた卵になる訳です。

「黒たまご」のでき方

箱根有数の観光地である大涌谷は、火山の爆裂火口の跡にあり、今も至る所から噴煙が上がります。温泉が湧き出しています。

その一角の人だかりは、「一つ食べれば寿命が七年延びる」と



後生掛温泉の黒たまご

の宣伝文句で知られる名物「黒たまご」を食べる人たちは、大涌谷だけでなく、秋田県八幡平の後生掛温泉や藤七温泉などの山の温泉でも売られています。

黒たまごができるのは、火山地帯の硫化水素や鉄分を含む酸性の温泉です。そこへ卵を入れると、炭酸カルシウムを主成分とする殻の周りが急にアルカリ性の方向に傾き（pHが上がり）、その瞬間、イオンとして含まれていた鉄分と、溶けていた硫化水素が反応して殻の表面に黒色の硫化鉄が生成され、殻に付着します。

このようにしてできた黒たまごですが、お土産に持って帰ったら色あせて黒くなくなってしまうという経験はありませんか。これは、殻の表面に薄く付着した黒色の硫化鉄が、空気中の二酸化炭素と反応して徐々に酸性方向に傾く（pHが下がる）ことによって、黒色の硫化鉄が分解されていくためです。

話が少し脱線しますが、「ゆで

卵」を食べるときに、黄身の表面が黒っぽく変色していることがあります。卵を茹でて熱が加わることによって、白身に含まれる硫黄成分が分解され、白身から硫化水素が発生します。黄身にはもともと鉄分が含まれているため、黄身の鉄分と白身から発生した硫化水素が反応して、黄身の表面に黒い硫化鉄が付着するためです。これも黒たまご

の反応と同じで、硫化黒変といえます。熱が加われれば加わるほど白身から硫化水素が多く発生します。ゆで卵を茹でる時間が長いと黄身の表面の黒さが増していきます。

また、白身と黄身を混ぜて玉子焼きを作る時、同じように白身から硫化水素が発生し黄身の鉄分との間で硫化黒変が起きるので、玉子焼きが黒ずんだような色になることがあります。特に卵が古いと二酸化炭素が抜け白身がアルカリ性になり、より多くの硫化水素が発生することから、黒さが増します。少量の

酢やマヨネーズなどを加えると、酸性に傾いて硫化黒変を押さえることができ、鮮やかな色の玉子焼になります。

温泉の匂いはどちらの卵

「ゆで卵」は、前述したように、茹でると白身から硫化水素が発生するため、殻をむく時にかすかに温泉のような匂いがします。これは、まさに温泉の匂いそのものなのです。

これに対して普通の「温泉たまご」（反対たまご）は、70℃以下の低温で茹でられるため、白身から硫化水素が発生せず、温泉の匂いはしません。「温泉たまご」は温泉の匂いがしなくて、普通の「ゆで卵」は温泉の匂いがするというおかしな話です。

山の温泉旅で「温泉たまご」に出会いましたら、中の固まり具合を確認しながら、そして、微妙な温泉の味を感じながら、温泉グルメを満喫していただきたいと思えます。

地図読み 迷入

監修・村越真
宮内佐季子
小泉成行

Lesson 147

記録のための地図活用 第3回 山中の場所の記録

山行記録に記載する出来事には位置情報も記しておきたい。位置情報があることで状況をイメージしやすくなる。もちろん、情報の内容によって必要な精度は違ってくるが、できるだけ正確な位置を記録する習慣をつけたい。とは言うものの、事情によっては位置を特定できない場合もあるだろう。その場合は精度が低い



図1

ということを書き添えておくのがよい。図1のように、可能性のある範囲を囲うような描き方も分かりやすい。地図読みに自信があれば紙の地図に正確に位置を書き記しておくとい。自信がなければ潔くスマホの地図アプリなどを使おう。では、正確な位置というのはどれぐらいの精度だろうか。高い精度が必要な場所なら、1・25000地形図で誤差1mm以内にはおさまられるようにしたい。誤差1mmという場所によっては小さな尾根1本分ずれる場合もある。そのような場所ではさらに正確に記す必要がある。

GPS（正確にはGNSS）機器やスマホの地図アプリを活用する場合は様々な機能があるので自分が使いやすい機能を使うのがいいだろう。ここではあまりコンピューターやスマホに慣れていない人でも比較

的使いやすい方法を紹介する。

①登山口で地図アプリ「ジオグラフィカ」のトラックの記録を開始する（図2）

トラックを記録すると予定のルートに戻る手助けになるし、万が一道を間違えたときの記録にそのまま利用できる。

②1ジオグラフィカ画面のスクリーンショットを撮る（図3）

スマホの画面を画像として保存すること。略して「スクショを撮る」と言う。スクショを撮る方法は機種によって違うので、調べておこう。

地図は現在地がはっきりわかる大きさに拡大し、現在地が画面内になれば現在地追尾アイコン（図3参照）をタップして現在地を表示

させておく。

スクショは写真と同じように送信や印刷をできるため、そのまま山行記録に貼り付ければ手間も省ける。読み手の立場からも地図画面のスクショは信頼できる。道を間違えた場合は、元のルートに復帰したときにスクショを撮っておくとよい。



図2

② 大まかな現在地を全体図に記入する (図4)

①のスクショの場所がルート

スクショを撮る操作の例

iPhone
音量+ボタンとサイドボタンを同時に押す
電源ボタンとホームボタンを同時に押す
android
電源ボタンと音量-ボタンを同時に押す
電源ボタンを長押しして「画面の保存」アイコンをタップ

全体のどの位置にあるのかを示すもの。そのため、記入する地図はルート全体を見渡せるものがよい。歩く距離が長い場合は概念図でも良い。地図アプリの地図を縮小してスクショを撮っても用をなす。



図3



図4 「大型動物? スマホ!」の場所が図1の場所、「ザック破損」の場所が図3の場所。

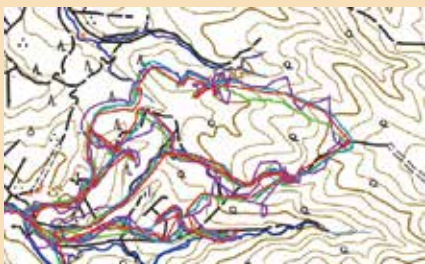


図5

原因でトラックの記録が止まってしまっている。山ではトラックの有無が生死を分ける可能性があることから作られた素晴らしい機能だが、大人数で使うなら、1人以外は音が鳴らない設定にしておこう。(画面左上のメニューアイコン(図3参照) ↓設定 ↓トラック ↓記録音 ↓なし)

自分だけが見る記録ならなくても差し支えないこともあるし、必ずしも現場でメモしなくてもよいが、人に見せる記録の場合は後からでも作成する必要がある。後から人に見せるために作成する場合は、紙面の無理がない範囲で大きな地図を用意するのが良いだろう。

③ 下山したらトラックの記録を終了する (図2)

記録の終了は忘れやすいが、忘れても大して困らない。地図アプリを使用する際に注意したいのが、現在地の精度である。周囲の地形やその時の衛星の位置、使うスマホによって精度が変わつ

てくる。

図5は4種類のGNSS受信機、スマホを持って歩いたときのそれぞれに記録されたトラックである。最も正確なのは水色のトラック。紫と緑のトラックはかなり誤差が大きい。赤のトラックは記録間隔を長く設定したため、かなり省略されたトラックになっていて、誤差が大き

自分のスマホでどの程度の精度が出ているか、また、記録間隔も適切かどうか確認しておくことよい。そのため、人が多く歩いているメジャーなルート(II)地図が概ね正確なことが多い)を歩くときにトラックを記録して地図の道とのずれを

見るのが手軽である。

現在地の精度は、アプリ画面でも確認できるものが多い。ジオグラフィカでは図2、3にあるように画面上部に「水平精度〇m(半径)」と表示される。

アプリ使用時にもう一つ覚えておきたいことがある。トラックの記録は予告なく止まってしまうことがあるということだ。原因はアプリの強制終了、スマホの再起動など様々である。これはガーミンなどのGNSS機器との大きな違いである。ジオグラフィカの初期設定では、トラック記録中に「ピヨッピヨッ」と小鳥の鳴き声が出るようになっていて、この音がしなくなったら、何らかの

みちのく潮風トレイルにある 十二支・丑年の山 臥牛山



登頂のしるし 標高 740 m階上岳の山頂

今野善伸

野木山想会／栃木

みちのく潮風トレイルは、青森県八戸市から福島県相馬市までの約1000kmを海岸に沿ってつなぐ。階上岳は青森と岩手の県境に位置し、トレイル起点の八戸市から2日目の階上町ルートにあり、太平洋を一望できる標高約740mの花崗岩の山である。南部地方の人に通年登られ愛されている。なだらかな山の形が牛の寝そべる姿に見えることから臥牛山とも呼ばれ、種市岳の別名もある。

階上町ルートは全長32km、1泊2日コースに登山ルートが組み込まれている。今回は登山部分だけを紹介する。

五重塔跡・灯明堂跡から階上岳町営放牧場に至ると、大開平に向かう登山口がある。山頂まで約1時間半の行程で、山頂から鳥屋部とやべの下山口までも最短4・5kmで約2時間と手軽に登れる。

大開平を過ぎると、ジグザグ道の砂利舗装されたコースと、土むき出しの直登コースの分岐にあたる。筆者は時計回りの周回コースを選択、直登がキツかった。春霞

みちのく潮風トレイルは、青森県八戸市から福島県相馬市までの約1000kmを海岸に沿ってつなぐ。階上岳は青森と岩手の県境に位置し、トレイル起点の八戸市から2日目の階上町ルートにあり、太平洋を一望できる標高約740mの花崗岩の山である。南部地方の人に通年登られ愛されている。なだらかな山の形が牛の寝そべる姿に見えることから臥牛山とも呼ばれ、種市岳の別名もある。

で叶わなかったが、山頂からは八甲田連峰を望めるらしい。南岳方面にある鳥居を過ぎると、山頂には珍しい湧き水「階上岳龍神水」がある。

南岳を踏まずにジグザク道を下ると、キクザキイチゲの群生地が白色と薄紫色の2色で迎えてくれる。ニリンソウの群生地もあった。さらに下ると、中間地点のしるし平に到着、トイレ・東屋・駐車場がある。ここから下山口までは全体的に整備されて歩きやすい。



ニリンソウの群生地



⌚ 階上岳町営放牧場 > 45分 > 大開平 > 直登 45分 > 山頂 > ジグザク道 60分 > しるし平 > 45分 > 鳥屋部登山口 > 10分 > 鳥屋部駐車場 (バス停)

🚌 公共交通機関：JR八戸線階上駅下車。車で20分
バス：1日3～4便しかないので勧めない

⌚ 参考タイム 🚌 交通



足の重心を考えて描こう



足を表現するのは難しいことですが、あまり気にしないでどんどん描いてみるのが上手になる秘訣だともっています。その時、少しの注意をすると良くなりますよ。

1. 重心がどこかを考える
 2. 足先(靴)をしっかり描く
 3. 足が円柱と考えて、半分は塗る
 4. 影になる部分は、太ももでも塗る
- 登りの時などを描くには、太ももを短く描くと登ってる感じができます。

あらかると

秋の草原

石井光造



九月の山は静かな草原で過ごした思い出がよみがえる。なぜかそれらの草原は白い花に飾られていた記憶が強い。

津波に抗して残った一本松で有名になった陸前高田の背後に横たわる氷上山(八七五m)の山頂手前の祈禱ヶ原という草原の中にある登奈孝志荘(避難小屋)に一人だけで泊まった静寂の夜は印象深い。草原を飾っていたウメバチソウの白花の多さに驚いたものだった(右写真)。

九月初頭に色とりどりなのに感激し、塩山の奥にある小楯山(一七一三m)に数回行った。山頂手前の錫杖ヶ原は、アザミ・ワレモコウなどの赤、アキノキリンソウの黄色、トリカブトの紫などが埋めていたのに、二等三角点標石を囲むのは白い花ばかりであった(中写真)。

白花が穂状に咲くサラシナシヨウマは夏の終わりから初秋に見たことが多い。静岡・山梨県境の山伏(二〇一四m)から硯で有名な雨畑へ下る林道を飾る白い穂の列は印象的だった(左写真)。

オススメ 山道具

No.236

“ドライシャンプー”
あったら良かった

笹原芳樹

元カモシカスポーツ本店店長



ダイアン『ドライシャンプー』

写真はドラッグストアでのもの。商品自体は電車の広告で知った。サイズ大(95g入) ¥1,320と小(40g入) ¥968があり、香りもグレープフルーツとペパーミントの2種類がある。



『ドライシャンプー』

小の携帯タイプ

サイズは直径3.3cm、長さ14cm、重量65g(内容量40g)と小型、軽量なので、山にも持って行けそう。成分は20種程だが、ヤナギラン。も入っていてそれが更に気に入った。試して3日間頭を洗わず使ってみたところ、なかなか爽快で香りもほのかで気持ち良かった。が、温泉の方がそりゃいいよなあ。

に、やっと少し泡立ったのでした。頭が皮脂まみれになっていたのでしようが、高所は乾燥しており、私自身はそれほど気にもなっていないかったです。

日本での若い頃は4〜5日山

登りをしたって、温泉には目も

くれず家まで帰っていたりと、

もったいないことをしました

が、今では日帰り山行でさえ温

泉を目指してしまいます。そう、

去年9月の連休時に行った北ア

の立山〜五色ヶ原〜黒四ダム

での2泊3日の最終日には、当

然大町温泉で入浴とあって風呂

セットを3日間持ち歩いていた

のに、連休最終日が故、バスは

めっちゃ混みの上、交通渋滞で長

野からの新幹線に乗るのすらギ

リギリで、汗はダクダク、頭は

ベトベトのままでの帰京となっ

てしまいました。

こんな時に、最近の電車広告

で見た本品一本さえ持っていれ

ば快適に帰れたのに。本人も

そうですが、周りの乗客へのエ

チケットにも、ね。

突然ですが、皆さん、一ヶ月以上頭を洗わなかったことってありますか？

まあほとんどそんな方はいないでしょうが、一昔前の大学山

岳部員あたりなら一ヶ月間の合宿で洗わなかった、なんて強者もいたかもしれませんかね。

私自身は9年前に山で骨折し入院した際に一ヶ月程シャワー

を浴びれず、タオルでふき取る

ムース状のものを使った様な気が

しますし(イマイチだった)、

ネパール国で登山した時も2週

間位はシャンプーをしなかった

ような…もつとも山中の大き

めの宿や山村のホテルではもち

ろん、首都カトマンズのホテ

ル(安い所が多かったせいかも)

ですら、シャワーのお湯が突然水になったり、ひどい場合は

シャンプー途中で水すら出なくなったりと散々な目にあった事もありました。

私の初めての海外登山は41年前のペルー国でのものですが

：今思えばベースキャンプで

お湯を沸かして洗えば良かった

ですし、私ではないですが事

故があり山中行動が長期となり

：実は、お恥ずかしながら、

2ヶ月近く頭を洗わなかったこ

とがあるんです。

この時、下山後温泉に行き

シャンプーをしたところ、ナ

ゼか泡が立たないのです。不思議

に思いつつ2度そして3度目

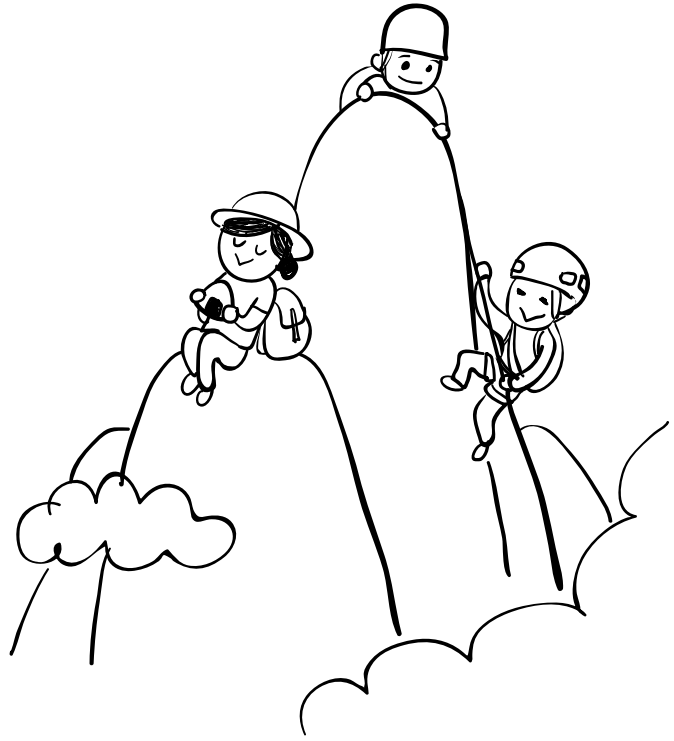
暑い時は滝だ！

日本百名瀑の大雲山系・銀河の滝、流星の滝。ただし、この滝は巨大なため対岸の滝見場まで登らねば全景が見えず、そこまで行くのに汗をかいた様な…。なお、文章とはいっさい無関係です。



大事なものを、 揃っています。

「登山用品専門店」だからこそ
出来る品揃えと接客サービスで
安全快適な山行をサポート。

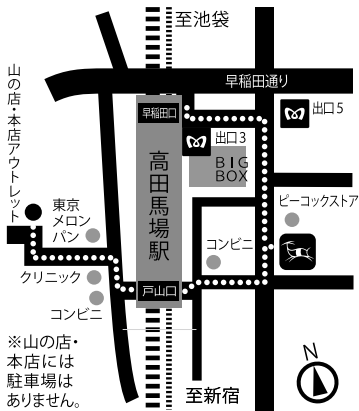


カモシカ 通販

オンラインショップ24hrオープン! / こだわりアイテムと充実の品ぞろえをネットから!

山の店・本店

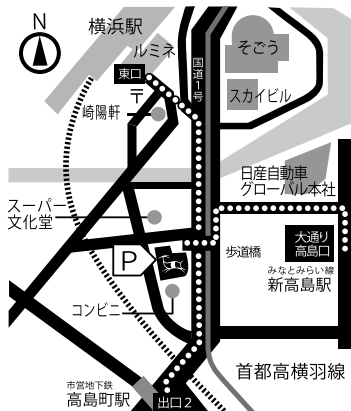
J R高田馬場駅から徒歩3分



※山の店・本店には
駐車場はありません。

山の店・横浜店

J R横浜駅東口から徒歩5分



山の店・松本店

松本ICから約6km



登山用品専門店

カモシカスポーツ

本店・横浜店 OPEN 11:00 CLOSE 20:00(月~金)/19:00(土日祝)

松本店 OPEN 10:30 CLOSE 19:00

- 山の店・本店 TEL03-3232-1121 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-28-6・2F
- 山の店・横浜店 TEL045-440-0711 〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-6-32横浜東口・ウィズビル1F
- 山の店・松本店 TEL0263-48-2424 〒390-1242 長野県松本市和田4478-1

日本勤労者山岳連盟 60年の歩みがよくわかる記念誌と年表ができました

60周年記念講演会とレセプションでお渡しした、記念誌「労山の60年」と「60年史年表」を希望する皆さんにお分けします



労山の60年

主な項目

- 第一章 労山の誕生と確立 1960～1969年
- 第二章 急速な会員拡大と諸分野の活動の確立 1970～1979年
- 第三章 一時的停滞を乗り越えて 1980～1989年
- 第四章 中高年登山ブームのなかで 1990～1999年
- 第五章 労山の会員数2万人突破 2000～2009年
- 第六章 新しい発展をめざして 2010年～
(付) 略年表、趣意書、歴代役員など

1冊 500円 (送料込)

A4判 120ページ (手渡しの場合は400円)

60年史年表

1冊 200円 (送料込)

A4判 74ページ (手渡しの場合も同額)

セットで購入の場合

1セット 600円 (送料込) (手渡しの場合は500円)
※上記の価格は、何冊ご注文いただいても同一です。

お申し込みは全国連盟事務局まで

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

TEL 03-3260-6331

FAX 03-3235-4324

メール jwaf@jwaf.jp